



## 国労九州本部拡大委員会開催!



2月3日サンメッセ鳥栖において国労九州本部拡大委員会を開催しました。新型コロナウイルスの第6波感染拡大で開催も危惧されましたが、参加者には抗体検査キットを事前に配布し検温・消毒などをして参加して頂き、また可能な限りリモートでの参加をお願いして無事開催することが出来ました。委員会前段には、労働講座と規約改正のため臨時大会を開催しました。労働講座には、唐津市の伊藤市議から問題提起を受け、委員会には、本部から岩元書記長が参加して情勢報告を行いました。

### 委員長挨拶

新型コロナウイルス感染の中でもエッセンシャルワーカーとして頑張っている皆さんに経緯を表したい。3点について挨拶をしたい。

#### ①22春闘について

JR九州は、マンション事業の好調さもあり黒字を計画しているが、BPRなどでの経費削減やダイヤ修正時の268名の効率化など、社員から会社の行方が恐ろしいという声が強くなっている。とくに、博多駅のホーム要員廃止など、安全が脅かされる問題については、国労として断固として反対の立場で運動を強化していく必要がある。

2月14日には、各社一斉の申し入れを行い、2月16日第1回の交渉が入って、3月18日前後が山場となる可能性がある。統一要求として定昇の完全実施、60000円のベア獲得、10項目の要求を求めている。同時に夏季手当2.5ヵ月、全員に生活改善支援金として10万円を求めていきたい。中央行動や全国統一闘争、九州本部として3月5日に春闘決起集会を計画している。コロナ感染状況を見ながら開

催していくが、多くの参加をお願いしたい。若い力などに、日本の賃金は20年間上がっていないことを情報として出しているので活用して欲しい

#### ②組織化拡大について

最近では九州本部において拡大が出来ていない。5年ビジョンの中間点でもあり、今日の委員会で組織強化拡大について議論して欲しい。また各地区本部で創意工夫しての取り組みをお願いしたい。

#### ③安全安定輸送について

博多駅のホーム要員廃止や無人駅の拡大、販売体制の変更など安全サービスが低下している。また香椎線で行われている自動運転実証実験の拡大や車椅子取り扱い対応なども問題となってくる。安定輸送の確保のため、是非職場の中で話し合っ欲しい。また毎年起こっている自然災害について、肥薩線など甚大な被害については一企業だけでは困難な現実もある。本部と連携して、政党要請や国交省要請などの際発言していきたい。本委員会が総決起の場となるようお願いし委員長挨拶としたい。

### 門司地方部主任



#### <労働講座>「規制緩和が及ぼす交通労働者への影響」

唐津市の伊藤市議から上記の内容で労働講座を開催しました。「規制緩和が進めば、新規参入企業が増え、消費者が自由かつ適正な選択がなされ経済が活発化する」と言われていました。しかし場合によっては利点もあっても、行き過ぎた規制緩和の結果、事故の発生や安全が脅かされている。労働者派遣などでは、当初は限定的なものが、全ての業種に拡大され、結果労働者の条件が悪化し、格差が広がってしまうなどデメリットの方が大きくなっていると指摘。また、これらを改善させるには、政治を変えていく必要もあると訴えました。